

# 広島県における 感染症拡大防止戦略

新型コロナウイルス感染症対策に関する会議  
令和2年4月10日

# 1 2つの主戦略

## ① 検査→発見→入院等

〔調査への協力が『いのち』を救う〕

- ・ 直接的に感染者を特定することで、拡大を防止
- ・ 検査の能力に限界があることから、優先順位をつける必要があるが、積極的疫学調査を徹底的に行った上で、幅広く検査を行い、できる限り陽性者発見に努める。

## ② 接触の低減

〔3密を避けることが『いのち』を救う〕

- ・ 人的接触を遮断すれば、感染は止まるはずだが、経済活動、社会活動、生活上の大きな副作用を伴うことから状況に応じて適切なレベルを設定する

# 2 広島県としての戦略

- 戦略①が機能する間は、できるだけ徹底しながら、感染が拡大するに従って、戦略②のレベルを上げていく。
- 戦略②は、まず日常生活や社会活動、経済活動に支障がなく(不要不急)、リスクの高いものから順に自粛を要請していく。

# イメージ

日常生活の必要性・支障

	活動例
低	<ul style="list-style-type: none"><li>• 花見</li><li>• 不要不急の3密活動(カラオケ, 宴会, スポーツジム等)</li><li>• 不要不急の往来(感染拡大警戒地域)</li><li>• テレワーク可能な業務</li><li>• 出張(感染拡大警戒地域)</li><li>• 学校(分散登校)</li><li>• 学校(登校禁止)</li><li>• 学童保育・保育園</li><li>• 出勤が必要な業務</li><li>• 健康維持のための個人的な運動等</li><li>• 生活維持のための買い物</li><li>• 医療機関受診等, 福祉サービス</li></ul>
中	
高	